

別紙

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称：株式会社マスネットワーク	所在地：長野県松本市中条1-14
評価実施期間：平成29年6月14日から平成29年11月8日	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） 060802 060672 060972 050231	

2 福祉サービス事業者情報（平成29年11月現在）

事業所名：雪窓保育園 （施設名）	種別：認可保育所
代表者氏名：茂木 祐司 （管理者氏名）古越 光弘	定員（利用人数）： 210（189） 名
設置主体：御代田町 経営主体：御代田町	開設（指定）年月日： 昭和49年4月1日
所在地：〒389-0206 長野県北佐久郡御代田町大字御代田4107番地117	
電話番号：0267-32-4166	FAX番号：0267-32-4166
ホームページアドレス：miyota@town.miyota.nagano.jp	
職員数	常勤職員： 23名 非常勤職員 名
専門職員	保育士 19名 保育士 名
	調理師 4名 調理師 名
施設・設備 の概要	(設備等)

3 理念・基本方針

保育理念 一人ひとりの子どもを大切に、保護者や地域と共に子どもの育ちを支援する保育を目指す。 保育目標 1. 健康な子ども 2. 思いやりのある子ども 3. 意欲的に遊べる子ども 園の目標 ・ 明るいあいさつのできる子ども ・ 人の話を聞ける子ども ・ 元気に遊べる子ども ・ 楽しく食べることができる子ども
--

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

週1回、異年齢保育を実施している。

5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	今回初受審
---------------	-------

6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

◇特に良いと思う点

<自然を活かした子どもの主体的な活動・遊びを豊かにする保育展開>

保育所は小学校に隣接し、新興住宅地である。又、林、公園等が周辺にあり、身近な自然に触れる機会が多い。自然に親しみさまざまな事象に興味を持ち、発見したことを喜び生活の中に取り入れていくことを保育のねらいに掲げ、養護、教育が一体となった保育の展開を目指している。子どもが主体的に活動できる環境の整備により、遊びこむこと、好きなことをさせるなどにより職員が「待つ姿勢」を持ち、指示的にならないよう保育の展開に努めている。また、龍神まつりへの参加、中・高校生との交流、高齢者施設訪問、未就園児、地域ボランティアとの交流等地域との連携を積極的に行い、社会への関わりの機会を作っている。

<保育士集団と子どもたちの姿>

保護者、担任からの情報を職員会議、朝礼等で一人ひとりの子どもについて共有している。年齢別部会で保育課程・保育計画の見直しを定期的に行い、保育の質を高めるための各種の研修等を通して、保育士は保育の見通しを持ち、楽しく園生活を送ることを願っている。

また、職員間での保育への熱心さは、保育士同士の連携や相談しやすさにもつながり、複数クラスであっても互いに相談し合い、伸び伸びと過ごす子どもたちの元気な姿が見られる。

◇特に改善する必要があると思う点

<保護者等からの意見、要望、苦情への取り組み>

昨年度、町こども係が中心となり、第三者評価と同じ項目で保護者へのアンケート調査を実施し、保育の質の向上を目指して、改善点を文書化するなど職員会で検討されている。苦情解決の仕組みに対する体制は整備されているが、数年、第三者委員会が開催されていないなど、仕組みが機能しているとは言い難い。保護者からの意見・要望は、保育所の理念・方針が保護者と共通理解されて伝えていないことも多く、保護者への伝え方の課題や苦情解決の仕組みについて保護者への周知が不可欠である。さらに、満足向上を目的とする意向調査の実施や検討会議を設置し、利用者保護の視点と同時に保育の質の向上にむけた組織的な取り組みに期待する。

<安全管理とその計画>

町立2か所の保育所共通の安全指導計画、避難訓練指導年間計画が作成されている。その計画に沿って、職員会では、毎月の避難訓練の実施、反省、改善策を検討し、年2回の不審者想定避難訓練など評価・見直しがされている。しかし、土曜保育は半年ごとに保育所を変更し、環境の変化に対する負担が大きい子どももおり、安全確保、事故防止に配慮が必要である。さらに、子どもの育ちを支援するためには、生きていく中でさまざまな型の危険を予知し、園児自ら回避できる力を養うことも望まれている。豊かな自然の中で元気に体を動かす子どもの状況、保護者の意向への配慮など総合的な視点でのアセスメントから計画策定、実施、評価・見直しといった一連のプロセスにより保育の質の向上が期待される。

- 7 事業評価の結果（詳細）と講評
共通項目（別添1）
内容評価項目（別添2）

- 8 利用者調査の結果
アンケート方式の場合（別添3-1）

- 9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添4）
（別添4）

第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント

（平成29年11月30日記載）

第三者評価については、初めてのことで何もわからない中で、職員共々不安を抱きながらの受審だった。

評価を受けてみて、日頃当たり前のように行っていることがマニュアル化されていないなど気づいていなかった点などが指摘され、園の中では気づいていなかった点が第三者評価を行ったことによりいろいろわかり良かった。

今後、明らかになった課題の解決に職員一丸となって取り組み、保育サービスの向上につなげていきたい。